

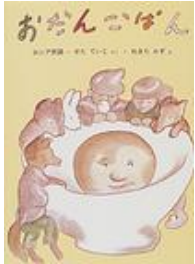


# 読み聞かせオススメ図書【低学年向け】

<h2>あおくんときいろちゃん</h2>		<h2>おおかみと七ひきのこやぎ</h2>	
	<p>児童 E レ            作:レオ・レオーニ            絵:            訳:藤田 圭雄            至光社</p>		<p>児童 E ホ            作:グリム            絵:フェリクス・ホフマン            訳:瀬田 貞二            福音館書店</p>
<p>あおくんときいろちゃんは一番の仲良しです。ある日2人は混ざり合って、みどり色になってしまい…。</p>		<p>お母さんやぎのおでかけ中に、悪いおおかみがやってきました。ドアを開けてはいけないと言われていたのに、こやぎたちは…。</p>	
<h2>おおきなおおきなおいも</h2>		<h2>おおきなかぶ</h2>	
	<p>児童 913 ア【C】            作:赤羽 末吉            絵:            訳:            福音館書店</p>		<p>児童 E サ【SE】            作:A・トルストイ            絵:佐藤 忠良            訳:内田 莉莎子            福音館書店</p>
<p>いもほりえんそくが雨で延期…。待ちきれない子供たちはおおきなおおきなおいもの絵を描くことに…。おいもから広がる、子供たちの自由な想像の世界が楽しい絵本です。</p>		<p>おじいさんの植えたかぶが大きく大きく育ちます。その大きなかぶを抜くために、おばあさん、孫娘、いぬ、ねこ、ねずみまで集まって…。トルストイによる、世界中で愛されるロシア民話。</p>	

おおさむこさむ		おじさんのかさ	
	児童 E コ 作:こいで やすこ 絵: 訳: 福音館書店		児童 E サ 作:佐野 洋子 絵: 訳: 講談社
<p>おおさむこさむ雪がふる。雪がふる日はゆきぼうずがでるぞえ…。ある雪の日、いたちのちいとにいと、そり遊びに出かけたきっこの前に、ゆきだるまたちが現れて…。</p>		<p>黒くてピカピカの傘が自慢のおじさんは、雨の日でも決して傘をさすことがありません。「雨がふったら、ポンポロン」その声に合わせて、思わず傘を開いたおじさんは…。</p>	
おだんごぱん		おちやのじかんにきたとら	
	児童 E ワ 作:ロシア民話 絵:脇田 和 訳:瀬田 貞二 福音館書店		児童 E ケ 作:ジュディス・カー 絵: 訳:晴美 耕平 童話館出版
<p>ある日、おじいさんはおいしいおだんごぱんが食べたくなりました。おばあさんがおだんごぱんを作り、窓のそばで冷やしていると、おだんごぱんはころころころがって…。</p>		<p>ソフィーとお母さんが、お茶の時間にしようと腰をおろした、ちょうどその時、玄関のベルがなりました。いったい誰かと思ったら、なんと、大きなトラだったのです。トラは、お茶のごちそうになろうとやってきたのでした。</p>	

<h2 style="text-align: center;">おやすみなさいフランス</h2>		<h2 style="text-align: center;">かいじゅうたちのいるところ</h2>	
	<p>児童 E ウ          作: ラッセル・ホーバン          絵: ガース・ウィリアムズ          訳: 松岡 享子          福音館書店</p>		<p>児童 E セ          作: モーリス・センダック          絵:          訳: じんぐう てるお          富山房</p>
<p>フランスの寝る時間になりました。おとうさんにおんぶしてもらって、おやすみなさいのキスをして、「おやすみ」とおとうさんとおかあさんに言ってもらって…。でも、フランスはちっとも眠くなりません。</p>		<p>ある晩、マックスはおおかみのぬいぐるみを着ると、いたずらをはじめておおあばれ。とうとう寝室にほうりこまれた。すると、寝室ににょきりにょきりと木がはえだして…。</p>	
<h2 style="text-align: center;">かさじぞう</h2>		<h2 style="text-align: center;">かにむかし</h2>	
	<p>児童 E ア          作: 瀬田 貞二(再話)          絵: 赤羽 末吉          訳:          福音館書店</p>		<p>児童 E シ          作: 木下 順二          絵: 清水 崑          訳:          岩波書店</p>
<p>雪の中、笠を売っていた心優しいおじいさんは、寒そうなおじぞうさまを見て、売り物の笠をすべてあげてしまいました。夜、おじいさんとおばあさんが寝ていると…。</p>		<p>柿の種をひろったさるは、かにがひろったおにぎりが欲しくて、だまして取りかえました。かにがまいた柿の種が木となり実をつけると、なんとさるは赤い実を食べ、青い実をかんに投げつけました…。</p>	

<h2>からすのパンやさん</h2> <p>☆大型絵本あり☆</p>		<h2>キャベツくん</h2>	
	<p>児童 E カ</p> <p>作:加古 里子</p> <p>絵:</p> <p>訳:</p> <p>福音館書店</p>		<p>児童 E チ</p> <p>作:長 新太</p> <p>絵:</p> <p>訳:</p> <p>文研出版</p>
<p>泉が森のからすのパン屋さんは、おいしい、すてきなパンをどっさり焼きましたが、おかげで店先で大騒動が起こります。</p>		<p>キャベツくんが歩いていると、ブタヤマさんに出会いました。お腹がぺこぺこなブタヤマさんは、キャベツくんを食べようとするのですが...</p>	
<h2>きよだいなきよだいな</h2> <p>☆大型絵本あり☆</p>		<h2>くまのコールテンくん</h2>	
	<p>児童 E フ【M】</p> <p>作:長谷川 摂子</p> <p>絵:降矢 なな</p> <p>訳:</p> <p>福音館書店</p>		<p>児童 E フ</p> <p>作:ドン・フリーマン</p> <p>絵:</p> <p>訳:松岡 享子</p> <p>偕成社</p>
<p>広い野原の真ん中に、巨大なピアノがあったとき、そこへ子どもが100人やってきて...。</p> <p>次々に巨大なせつけん、巨大な電話、巨大なトイレットペーパー、巨大なびんが出てくるお話。うたうようなリズムの文体の絵本。</p>		<p>おもちゃ売場のつりひものボタンがとれた熊のお人形、コールテンくんを買っていこうとする人は誰もいません。ところがある朝...。</p> <p>コールテンくんと少女リサとの心のふれあいを描く絵本。</p>	

## ぐるんぱのようちえん

☆大型絵本あり☆



児童 E ホ【M・SE】

作:西内 みなみ

絵:堀内 誠一

訳:

福音館書店

## くれよんのくろくん



児童 E ナ【M】

作:なかや みわ

絵:

訳:

童心社

ぐるんぱは、とても大きなぞうです。ぐるんぱには、おおきい体のせいで、すべてのことが悪いことになるという問題があつて...

ずーっと新品のままだったクレヨンたち。ある日、箱から飛び出したきいろくんは画用紙に蝶を描いて大喜び。次々に他の色のクレヨンたちを呼んできました。ところが、最後に残ったくろくんだけは、仲間に入れてもらえません...

## くわすにようぼう



児童 E ア

作:稲田 和子(再話)

絵:赤羽 末吉

訳:

福音館書店

## ことばあそびうた



児童 911 タ

作:谷川 俊太郎

絵:瀬川 康男

訳:

福音館書店

よくばりな男の家に、美しい女の人がやってきました。ご飯を食べないで働くから、にようぼうにして欲しいという申し出を、男は喜んで受けたのですが...

言葉遊びが楽しい、谷川俊太郎さんの詩集です。





これはのみのぴこ		こんとあき	
	児童 E ワ 作:谷川 俊太郎 絵:和田 誠 訳: サンリード		児童 E ハ 作:林 明子 絵: 訳: 福音館書店
<p>これはのみのぴこ。これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもん。これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもんのしっぽふんずけたあきらくん。これはのみのぴこの...。次は誰が出てくるかな？</p>		<p>こんとあきは仲良しです。ある日、こんの腕がほころんでしまったので、さきゆうに暮らすおばあちゃんに直してもらおうと、2人は電車に乗って向かうのですが...</p>	
さくら		ざぼんじいさんのかきのき	
	児童 E ヤ 作:長谷川 摂子 絵:矢間 芳子 訳: 福音館書店		児童 E オ 作:すとう あさえ 絵:織茂 恭子 訳: 岩崎書店
<p>わたしはさくらの木。春には花を咲かせます。その花が散った後には、葉っぱの赤ちゃんが出てきます...。1本のさくらの1年のドラマを、精緻なイラストとリズムカルな文章で描きます。</p>		<p>ざぼんじいさんは、あまい柿をいつもひとりじめしています。まあばあさんにわけてくれるのは、葉っぱや枝ばかり。でも、まあばあさんは、大よこびです。そのわけは...</p>	

<p>サンタクロースってほんとにいるの？</p>		<p>3びきのかわいいオオカミ</p>	
	<p>児童 E ス【SE】</p> <p>作:てるおか いつこ</p> <p>絵:杉浦 範茂</p> <p>訳:</p> <p>福音館書店</p>		<p>児童 E オ</p> <p>作:ユージーン・トリビザス</p> <p>絵:ヘレン・オクセンバリー</p> <p>訳:こだま ともこ</p> <p>富山房</p>
<p>サンタクロースっているの？ サンタクロースのなんで？どうして？ がつまった絵本。</p>		<p>3匹のかわいい狼は広い世界に出ていくことになりました。「でも、悪いおおブタには気をつけるのよ」狼たちはれんがで家を作ったのに、とんでもないわるブタはそれを壊して...。「3匹の子豚」の素敵なおパロディー。</p>	
<p>三びきのこぶた</p>		<p>三びきのやぎのがらがらどん</p>	
	<p>児童 E ヤ</p> <p>作:イギリス昔話</p> <p>絵:山田 三郎</p> <p>訳:瀬田 貞二</p> <p>福音館書店</p>		<p>児童 E ブ</p> <p>作:北欧民話</p> <p>絵:マーシャ・ブラウン</p> <p>訳:瀬田 貞二</p> <p>福音館書店</p>
<p>三びきのこぶたの兄弟が、わら、木、レンガを使ってそれぞれ家を作ることになりました...。 世界中の子どもたちに愛されているイギリス民話。</p>		<p>山の草をたべて太ろうとする3匹のヤギのがらがらどんと、谷川でまちうけるトルル(おに)の対決の物語。 ブラウンの絵には北欧の自然が見事に再現されています。</p>	

11ぴきのねことあほうどり		14ひきのおつきみ	
	児童 E バ 作:馬場 のぼる 絵: 訳: こぐま社		児童 E イ 作:いわむら かずお 絵: 訳: 童心社
コロッケ屋さんを開いたネコ達。毎晩売れ残ったコロッケを食べ、コロッケにはもう飽きた！鳥の丸焼きが食べたいな～と思っていると、旅の途中のアホウドリがやってきて…。		小さなくんちゃんたちが、高い木の上に組み立てているのはお月見をするための台。やがて日が落ち、家族のみんなも木の上に上ってきて、夜になると…。	
しょうぼうじどうしゃ じふた		しろいうさぎとくろいうさぎ	
	児童 E ヤ【M・SE】 作:渡辺 茂男 絵:山本 忠敬 訳: 福音館書店		児童 E ウ 作:ガース・ウィリアムズ 絵: 訳:松岡 享子 福音館書店
消防署のすみっこに、古いジープを改良したちびっこ消防車のじふたがいました。けれどもじふたは小さくて、みんなから相手にされません。ある日、そんなじふたに大仕事がやってきて…。		しろいうさぎとくろいうさぎ、二匹の小さなうさぎが、広い森のなかに住んでいました。墨絵のような濃淡でやわらかくつづられた絵本。	



<h2>スイミー</h2>		<h2>すてきな三にんぐみ</h2> ☆大型絵本あり☆	
	児童 E レ 作:レオ・レオニ 絵: 訳:谷川 俊太郎 好学社		児童 E ウ 作:トミー・アンゲラー 絵: 訳:いまえ よしとも 偕成社
<p>小さな黒い魚スイミーは、広い海で仲間と暮らしていました。ある日、なかまたちがみんな大きな魚に食べられてしまい、一匹のこったスイミーは...</p>		<p>黒マントに黒い帽子がトレードマークで、宝集めに夢中だった三人組の泥棒が、すてきなことを思いつきました...。国際アンデルセン賞受賞画家のロングセラー絵本</p>	
<h2>スーホの白い馬</h2>		<h2>せんたくかあちゃん</h2> ☆大型絵本あり☆	
	児童 E ア 作:大塚 勇三(再話) 絵:赤羽 末吉 訳: 福音館書店		児童 E サ【M】 作:さとう わきこ 絵: 訳: 福音館書店
<p>貧しいけれど働き者の羊飼いの少年スーホ。草原で拾った白い子馬を一生懸命に育てるのだが...。少年と馬との悲しくも美しい民話。</p>		<p>せんたくの大的大の大好きなかあちゃんがいました。家中のものばかりか、猫も犬もソーセイもげたも子供たちもみんな洗って干していると、おへそを取りにきたかみなりさまが落ちてきて...</p>	

<p>そらいろのたね</p>		<p>そらまめくんのベッド ☆大型絵本あり☆</p>	
	<p>児童 E オ【M・SE】 作:なかがわ りえこ 絵:おおむら ゆりこ 訳: 福音館書店</p>		<p>児童 E ナ【M】 作:なかや みわ 絵: 訳: 福音館書店</p>
<p>だいくとおにろく</p>		<p>だいじょうぶだいじょうぶ</p>	
	<p>児童 E ア【M・SE】 作:松居 直(再話) 絵:赤羽 末吉 訳: 福音館書店</p>		<p>児童 E イ【M】 作:いとう ひろし 絵: 訳: 講談社</p>

ちいさいおうち		ちからたろう ☆大型絵本あり☆	
	<p>児童 E バ 作：バージニア・リー・パートン 絵： 訳：いしい ももこ 岩波書店</p>		<p>児童 E タ 作：今江 祥智 絵：田島 征三 訳： ポプラ社</p>
<p>静かないなかに、ちいさなおうちがたっていました。リンゴの木や畑にかこまれて、たいへんしあわせでしたが、まわりに工場がたち、電車が通って、にぎやかな町になると...</p>		<p>貧しいじいさまとばあさまのこんび(あか)からできた、ちからたろう。同じ力自慢のみどうっこたろうといしこたろうを仲間にしてばけものをやっつけ、田畑を耕して皆を幸福にします。</p>	
てぶくろ		トラのじゅうたんになりたかったトラ	
	<p>児童 E ラ 作：ウクライナ民話 絵：エフゲーニ・ラチョフ 訳：内田 莉莎子 福音館書店</p>		<p>児童 E ロ 作：ジェラルド・ローズ 絵： 訳：ふしみ みさを 岩波書店</p>
<p>森の中におちていた手袋に、ねずみがやってきて住み始めました。すると、次から次へといろいろな動物がやってきて、みんな手袋に住みたがりますが...</p>		<p>インドのジャングルに棲んでいた痩せこけたトラは、宮殿の広間でおいしそうに食事をしている王さまと家族がうらやましくてたまりません。ある日、トラはとんでもないことを思いつき...。とびきり愉快的な絵本。</p>	

どろんここぶた		どろんこハリー	
	<p>児童 E 口【M】            作：アーノルド・ローベル            絵：            訳：岸田 衿子            文化出版局</p>		<p>児童 E ク            作：ジーン・ジョン            絵：マーガレット・フロイ・グレアム            訳：わたなべ しげお            福音館書店</p>
<p>こぶたはやわらかいどろんこの中で過ごすのが大好き。でもある日、大切などろんこ沼がキレイに掃除されてしまって…。</p>		<p>ハリーは、黒いぶちのある白いいぬです。なんでもすきだけど、お風呂にはいることだけはだいきらいでした。ある日、お風呂にお湯をいれる音がきこえてくると…。</p>	
ねずみくんのチョコッキ		のはらうた	
<p>☆大型絵本あり☆</p>			
	<p>児童 E ウ            作：なかえ よしお            絵：上野 紀子            訳：            ポプラ社</p>		<p>児童 911 ク            作：くどう なおこ            絵：            訳：            童話屋</p>
<p>ねずみくんのお母さんが編んでくれたチョコッキを、さるやライオンやぞうたちが次々に「いいチョコッキだね。ちょっと着させて。すこしきついが似合うかな？」チョコッキはだんだん伸びて行って…。</p>		<p>“のはらむら”のみんなによる、素敵な詩集です。</p>	

<h2>はしれ！カボチャ</h2>		<h2>はなのすきなうし</h2>	
	児童 E レ 作：エバ・メフト 絵：アンドレ・レトリア 訳：宇野 和美 小学館		児童 933 リ【C】 作：マンロー・リーフ 絵：ロバート・ローソン 訳：光吉 夏弥 岩波書店
<p>孫娘が結婚するとの知らせを受けて、喜んで式へ出かけていったおばあさん。しかし、道の途中でオオカミとクマとライオンに食べられそうになる。おばあさんを無事に帰らせるために、孫娘はカボチャを持ってきて…。</p>		<p>牛のフェルジナンドは、花が大好きなおとなしい牛です。でもある日、闘牛場へ連れて行かれてしまい…。</p>	
<h2>はなをくんくん</h2>		<h2>パパ、お月さまとって！</h2>	
	児童 E サ 作：ルース・クラウド 絵：マーク・サイモント 訳：きじま はじめ 福音館書店		児童 E カ 作：エリック・カール 絵： 訳：もり ひさし 偕成社
<p>雪の山の中。くまも、のねずみも、りすも、みーんな眠ってる。でも、みんなが目を覚まし、はなをくんくんしながらかけだした！みんなどこへいくの？</p>		<p>「お月さまをとって!」と娘にせがまれたお父さんは、長い長いはしごをかけて…。画面を左右上下に開いて、広い広い空を描いた絵本。</p>	



<h2 style="text-align: center;">バムとケロのさむいあさ</h2> <p style="text-align: center;">☆大型絵本あり☆</p>		<h2 style="text-align: center;">ピーターのくちぶえ</h2>	
	<p>児童 E シ          作: 島田 ゆか          絵:          訳:          文: 文溪堂</p>		<p>児童 E キ          作: エズラ・ジャック・キーツ          絵:          訳: きじま はじめ          偕成社</p>
<p>きょうはとっても寒い日。こんな日はうらの池もきっと凍っているはず。バムとケロはスケートと釣りの道具をもって池にいきました。すると、あひるさんが一緒に凍りついているではありませんか! 二人は急いで助け出します。</p>		<p>ピーターは口笛が吹けません。何度練習をしても、口笛はなりません...</p>	
<h2 style="text-align: center;">ひとまねこざるときいろいろし</h2>		<h2 style="text-align: center;">100まんびきのねこ</h2>	
	<p>児童 E レ          作: H・A・レイ          絵:          訳: 光吉 夏弥          岩波書店</p>		<p>児童 E カ【M】          作: ワンダ・ガアグ          絵:          訳: いいい ももこ          福音館書店</p>
<p>かわいい子ザルのじょーじは、きいろいぼうしのおじさんに連れられて、アフリカから船に乗りました。片時もじっとしてられない知りたがりやのじょーじは、次々と騒ぎを起こします。ロングセラー絵本。</p>		<p>年をとったおじいさんとおばあさんは、猫が飼いたくなり、おじいさんは猫を探しに出かけます。おじいさんがたどりついたのは一兆匹の猫がいる猫ばかりの丘! その中から一番きれいな猫を選ぼうとするのですが...</p>	

<h2 style="text-align: center;">まあちゃんのながいかみ</h2>		<h2 style="text-align: center;">まゆとおに</h2>	
	<p>児童 E タ【M】          作:たかどの ほうこ          絵:          訳:          福音館書店</p>		<p>児童 E フ          作:富安 陽子          絵:降矢 なな          訳:          福音館書店</p>
<p>まあちゃんの髪は今、おかつぱ。でも、「もっと、ずっと伸ばすんだから」と、まあちゃんがいいました。その長いことといったら...。          女の子たち3人の会話の中の空想の世界を描いた、楽しい絵本。</p>		<p>北のお山のとっぺんの三本杉の下に小さな家がありました。その家には、のっぽのやまんぼとやまんぼの娘のまゆが住んでいました。          ある日まゆは、雑木林の奥でとんでもなく大きな人に会いました...。</p>	
<h2 style="text-align: center;">めっきらもつきらどおんどん</h2> <p style="text-align: center;">☆大型絵本あり☆</p>		<h2 style="text-align: center;">モチモチの木</h2> <p style="text-align: center;">☆大型絵本あり☆</p>	
	<p>児童 E フ【M】          作:長谷川 摂子          絵:降矢 なな          訳:          福音館書店</p>		<p>児童 E タ          作:斎藤 隆介          絵:滝平 二郎          訳:          岩崎書店</p>
<p>遊ぶ友達が誰もいないかたは、大声で歌を歌った。すると、風に乗って奇妙な声が聞こえてきた。「よおよお、ええうたええうた」声が聞こえてきた穴をのぞきこむとひゅうっとあなに吸い込まれて...。</p>		<p>おもての大きなモチモチの木がおっかなくて、夜ひとりではセツチンに行けない豆太。ある夜、ジサマの具合が悪くなり...。</p>	

## もりのなか



児童 E エ【M】

作：マリー・ホール・エッツ

絵：

訳：まさき るりこ

福音館書店

児童

作：

絵：

訳：

もりの散歩に出かけたぼくは、ライオンに会い一緒に散歩をした。すると今度は2匹のゾウに会い...